



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

乳腺外科 ブレストセンター 診療科日記

詳細はこちら



横浜市立市民病院
ウェブサイト
(乳腺外科)

・対象疾患
・外来案内
・診療実績 など

乳腺外科に少しでも関心のある 学生・若手医師の皆さんへ

ご訪問ありがとうございます！乳腺外科の嶋田です。

まずはメインチームスタッフを紹介します！

最短1ヶ月で乳癌手術
10例修練できました！
研修医2年目

中盤の要！
遺伝子・化学療法・手術
なんでもCome on!

横浜の乳腺医療は
我々が守ります！
リーダー嶋田です！

乳腺選択してよかった！
女性医師として絶賛活躍中！
医師10年目

患者さんが穏やかな毎
日を過ごすための確か
なケアを！認定看護師

乳がん看護について知
りたい？私になんでも聞
いてね！認定看護師

予防医学から一般乳腺
医療まで豊富な経験で
現場を導きます！

-見えない痛みに気付きたい-
チーム医療に深みと寄り添いを
臨床/公認心理士タッグ

多くのメディアで報道されている乳がん。5大がんの1つであり9人に一人が罹患するメ
ジャーな疾患で女性最多の悪性腫瘍ですが・・・

専門医数は23領域中17位と少ない現状があります！

これは今後乳腺外科医を目指す医師にとっては大きなメリットともいえます。

まずは乳腺外科のメリットについての当医局でのR5年FORMSアンケート（現役乳
腺外科医師：男性12名女性12名）の結果を見てみましょう。

アンケート結果 1（現役乳腺外科医師：男性12名女性12名）

【乳腺外科にやりがいがあると感じた点】

- ◆ 罹患数が多いのに専門家が少なく、求められる自分に存在価値を感じられる
- ◆ 社会的役割の大きい若年女性患者の手助けができる
- ◆ 検診、診断、手術、化学療法、社会復帰や終末期まで通して診療できる

【将来性を感じた点】

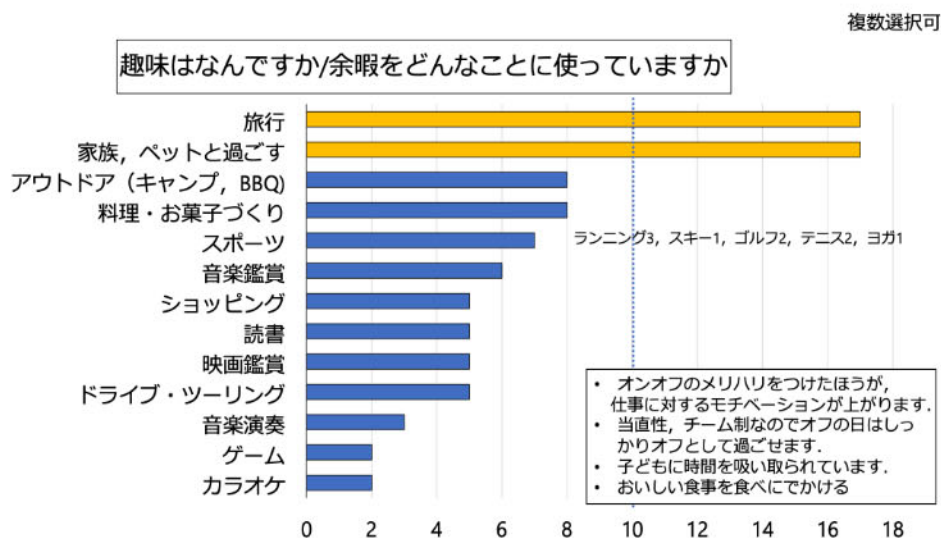
- ◆ 女性医師の需要が高い、男女ともに活躍できる
- ◆ 専門クリニックが少ないので開業することになってもライバルが飽和していない
- ◆ 分子生物学的な発展が早く今後も先進性がある
- ◆ 手術治療があり、一生ビジネスライクにならず、ずっと自らの手で直す達成感

【専門性に関して】

- ◆ 集中して1つの臓器を極める事ができる
- ◆ 検診、疫学、画像診断、手術、再建、化学療法、ホルモン療法、基礎医学、臨床試験、病理、ゲノム、遺伝、AYA世代患者サポート、妊孕性、緩和、など自分の専門分野の選択肢が広い

【ワークライフバランスに関して】

- ◆ 緊急登院や緊急手術、急変がほぼないため、計画的に余暇を過ごせる
- ◆ 検診が盛んで長期休暇中のバイトが豊富
- ◆ 日中集中すれば、時間外の業務はほぼない



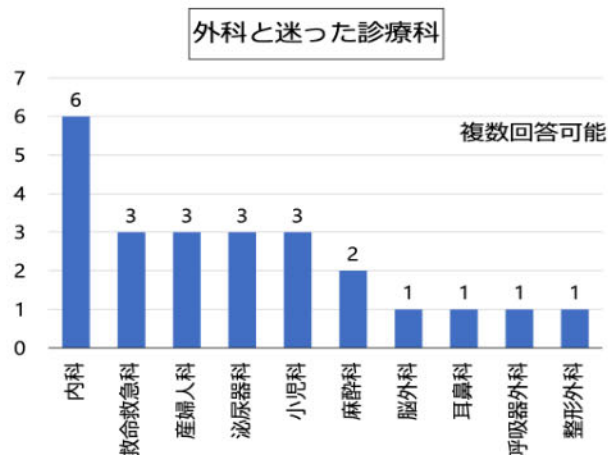
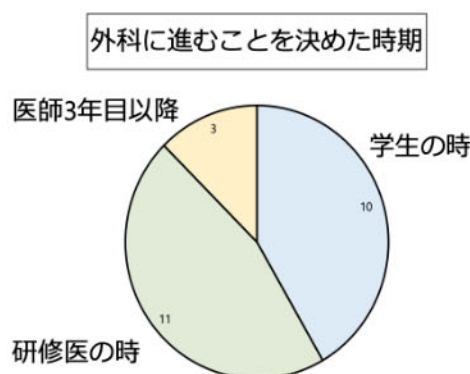
アンケート結果2（現役乳腺外科医師：男性12名女性12名）

【乳腺以外の外科修練が不安な方へ】

- ◆ 横市専攻医は乳腺以外のローテが短い（卒21年男）
- ◆ 数年の苦労は決して無駄にはならない（卒10年男）
- ◆ 意外と大丈夫、終わったら自信ついてます（卒8年女）
- ◆ これが最後くらいの気持ちでなんとかあった（卒10年女）
- ◆ どの科を選んでも大変だよね（卒20年女）
- ◆ 外科は実際はいつから余計たのしかった（卒11年女）



当院の外科専門研修(専攻医プログラム)は、手術数達成済み領域の重複ローテーション義務はありません！（例：研修医2年間で呼吸器外科10例取得済みの場合、専攻医で呼吸器外科ローテーションの義務はない）。外科専門医だけではなくその先のサブスペシャリティ専門医取得まで効率的に行えるキャリア戦略が可能です。



【実際に当院乳腺外科をローテした研修医の声】

- ◆ 苦手意識のあった抗癌剤によりやく親近感をもてた（研修医1年女）
- ◆ 「癌の手術執刀」をさせてにらい医師として充実していた（研修医1年女）
- ◆ 形成志望の自分にとっても充実した必須基本手技が学べた（研修医2年男）
- ◆ 最短の1ヶ月で外科専門医の乳腺10例を修練できた（研修医2年男）

アンケートのまとめ

乳腺外科は幅広い専門性をもちつつ、ライフワークバランスも良い科目でした。手術と薬物治療など、外科的・内科的両面で活躍でき、専門家として希少価値も高いため社会に求められ、自分の存在価値を見いだせる将来性のある科目だといえそうですね！

当科の診療概要と関連病院を次項に！



手術治療

乳癌薬物療法には、化学、内分泌、分子標的、免疫チェックポイント阻害薬治療があり、遺伝子やタンパク発現に基づくオーダーメイド医療が最も発展している分野です。手術だけではなく、薬物治療もできるオールラウンダーな腫瘍専門医になることが可能で、魅力的な目標となるでしょう！

最新のアブレーション手術も含め約150例/年の乳癌手術を実施。
手術は1～2時間と短時間であるため研修医や専攻医にも基本手技や悪性腫瘍の執刀を積極的に指導できます。
自らの手で癌を治療する経験は何にも代えがたい充実したものとなるでしょう。安全に配慮しながら共に癌を「その手」で治療しよう！



薬物治療

乳腺疾患はAYA世代（若年）に多い特徴があるため当科では就労支援、家事、妊孕性、遺伝、子育て、経済的・精神的な面など生活の質をトータルサポート多職種チーム体制(プレストセンター)を構築しています。「疾患」を治すだけではなく「人生」に寄り添い、地域・社会までも治すチーム医療を共に実現しましょう！



チーム医療

当科は横浜市大消化器腫瘍外科学に属する医局になります。

関連病院には多くの地域拠点病院があり最短で乳癌専門医を目指すコースを歩めます！フレキシブルな働き方が可能で現在半数が女性医師です。

後悔はさせません！まずは横浜市立市民病院から共に出発しましょう！！

お問い合わせ

横浜市立市民病院 総務課 研修医・専攻医採用担当

TEL：045（534）3609